

第11表 小規模集合住宅供給方式(東京電力(株)資料より)

種類	概要	使用変圧器	施設区分		財産・責任分界点		実施に当たっての条件
			電力会社	需要家	財産分界点	責任分界点	
現行変圧器室垂直母線フレーム異容量V結線方式	・建物内(外)に変圧器室(棟)を需要家が提供し、変圧器を設置して供給	・汎用変圧器 ・変圧器室用 中型変圧器 (150,200、 300kVA) (供給可能な電力は 特に制限なし)	・変圧器室内 フレーム ・変圧器 ・高圧ケーブル ・消火器	・変圧器室 ・変圧器室付帯 設備 (先方管路 ハンドホール 換気設備 照明設備 アース設備など) ・二次側低圧 ケーブル	・変圧器の 二次側 接続点	・変圧器室 の内壁面	・変圧器室構造 ・天井2.5m以上 (垂直フレームは2.7m) ・耐火構造・防火扉 ・その他付帯設備 ・変圧器室位置は、1階または 地下1階
薄型屋内用変圧器方式	・変圧器室内に薄型供給用変圧器を設置して供給	・薄型屋内用 変圧器 (80+20kVA) (電灯供給 最大80kW)	・変圧器 ・高圧ケーブル ・消火器	・現行変圧器と 同様	・変圧器の 二次側 接続点	・変圧器室 の内壁面	・変圧器室構造 ・縦3.65m * 横1.36 * 高さ 2.3m以上 ・その他は現行変圧器と同様 ・変圧器室位置は1階
地上用変圧器方式(パットマウント)	・構内の需要家施設柱に変圧器を設置して供給	・地上用変圧器 80+20kVA 70+30kVA (電灯供給 最大80kW)	・地上用変圧器 ・高圧ケーブル ・消火器	・変圧器設置用 ハンドホール ・先方管路 ・消化器収納箱 ・アース設備 ・二次側低圧 ケーブル	・変圧器の 二次側 接続点	・ハンドホール 内の需要家 ケーブル管 口	・設置位置は、境界付近電源側 ・ハンドホール、ならしコンクリート、消化器収納箱および付帯設備の設置 ・電力がある場合は三相4線式の共用幹線とし、CVQケーブルおよび電灯・電力分離用端子ボックスを設置
需要家施設柱方式	・構内の需要家施設柱に変圧器を設置して供給	・都市型変圧器 (125+50kVA) ・汎用変圧器 (2台105kVAまで) (電灯供給 最大125kW)	・変圧器 ・高圧側架空 電線 ・低圧開閉器 または分岐 装置	・コン柱 (12-60以上) ・コン柱付帯 設備 (支線 接地工事他) ・二次側低圧 ケーブル	・変圧器の 二次側 接続点	・同左	・地中線供給区域外 ・12-60以上のコン柱の施設